

中 守 破 離



令和7年6月9日（月）第6号

真向勝負 夢なき者に成功なし ～体育大会を行いました～

5月26日（月）、「真向勝負～夢なき者に成功なし～」をテーマに、仁方中学校体育大会が行われました。5月は週末ごとに大雨となり、本校の体育大会も24日（土）から延期しての実施となりました。延期はしましたが、生徒たちは元気とやる気に満ち溢れ、練習の成果をいかに発揮し、迫力のある競技や演技を披露してくれました。

本校の体育大会は、3学年を縦割りにし、紅団・白団に分かれ、3年生がリーダーとなって生徒自らが考えながら全員で体育大会を創り上げることが特徴です。

特に、行進とソーランの練習は、紅団と白団に分かれて多くの時間とエネルギーを費やし、あらゆる工夫を凝らしながら取り組んでいました。

行進では、大きな声を出しながら、足並みはもちろん指先までも意識した全体の美しさを求めました。

ソーランでは、団長やソーランリーダーが各団を主導しながら練習を積み重ね、構成まで考えました。

また、今年度のソーランでは新しい取組を行いました。各団がテーマを掲げ、テーマに沿った構成とすることです。

紅団のテーマは「水平線」。水平線のように紅団全員の気持ちをまっすぐ、揃ったものに、綺麗で美しく、途切れることなく伝統や想いをつないでいく想いが込



められていました。白団は「大航海」。大航海のように、大きな波、困難にぶつかる時、白団の仲間と助け合い、団結し、乗り越えていく姿を表現しました。

紅団と白団が切磋琢磨しながら、高い目標に向かって集団や個としての力を身に付けていくのですが、各団の取組において、いろいろな思いがぶつかり合い、大変な時期もあったのではないかと思います。しかし、本番では全員が全力でやりきり、正に「真向勝負」していたと思います。最終的には相手ではなく、自分自身に負けず頑張っている姿が見られました。

本当に「感動」しました。

「全力のその先には必ず楽しさがある。」と校内に掲示し、その言葉を信じて頑張りましたから、体育大会が終わった後は全員が笑顔でした。

これからも更にレベルアップした仁方中学校が見られることを楽しみにしています。

